





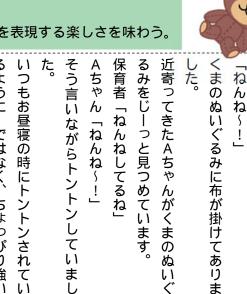
でした。

ひよこ組



11月のねらい

- 戸外や室内で探索を楽しむ。
- 簡単な単語で思いを



保育者「ねんねしてるね」

Aちゃん「ねんね~!_

そう言いながらトントンしていまし

いつもお昼寝の時にトントンされてい

るように...ではなく、ちょっぴり強い クスッと笑ってしまいました。 力でトントンと寝かしつけている姿に



した。

微笑ましい場面でした。

わりが増え、このようにやりとりするようになりま

りす組のこどもたちも、言葉やこども同士での関

.いっしょにふ~!」

ッと抱きついているBちゃんとこく 部屋にある風船を見つけると、 ギュー

を持ってきて ていたDちゃん。 その風船を指差しながら欲しがつ 保育者が新しい風船

風船を膨らませていると、こどもたち 保育者「ふ~!」

も集まってきて

こどもたち「ふ~~!_

と一緒にしてくれました。ほっぺたを

膨らませているお顔がなんとも可愛く て何度も息を、 ふ~!と吹いているの





- ・靴を履いたり帽子を被るなど身の回りのことを自分でやろうとし、 出来たことに喜び を感じる。
- の自然物に興味をもつ。

₩りす組

した。

変化を感じながら散策を楽しみ、戸外では体を動かして遊ぶことを楽しむ。秋

Bちゃん「いっしょにおりよっか」

らの景色を堪能すると..

2人ともてつぺんまでのぼって笑い合い、

高い所か

Bちゃん「いくね」

Aちゃん「おいでー」

Bちゃん「Aちゃん、やつほー

下から見ていたBちゃんが Aちゃん「Bちゃーん」 A ちゃんがてっぺんまでのぼり

Aちゃん「うん」

がら

紙パンツ

着替えをしている時のこと

紙パンツをはかせてもらって自分でズボンを履きな



C ちゃん: かみ~のパンツはいいパンツ~

心地いいんでしょうね。 そうよね~今どきの紙パンツは性能も良くて履き

気持ちよさそうに歌う姿についつい笑ってしまいま

肋木でハシゴのぼりして遊んでいた時のこと」













せ、その後にこどもたちにクイズを出しました。

保育士

:「本当だね、オレンジ色のところと青色

A ちゃん: 夕方テラスに出た時に「見てみて、

お空

がきれいだよ」

お空がきれいだよ

C く ん

:「花火みたいだね、この間見た花火に似

Bちゃん:「かわいいお空だね」

のところがあるね.

を展示してくれました。一つひとつ「これは…」と名前を知ら 給食で「きのこうどん」が出る日、調理さんが5種類のきのこ

わかった!の閃き





11月のねらい

保育士「そうだね。細くて枝みたいにみえるもんね。これは、 保育士「え…え…え…」 Aちゃん「え?わかんない」 保育士「これな~んだ」 Aちゃん「わかった!え・だ!!_

え・の・き」

Aちゃん「えのきかぁ」

保育士「じゃあこれは?」

Aちゃん「うーんと、き・の・こ!!.

こどもたちの精一杯のお話が可愛くて微笑ましいです。

黒いヘビさん美味しい

保育士「何かピョン!って出てるね。それなあに?」 がピョンと出ていたので おやつに「ひじきおにぎり」が出た時、ご飯の隙間からひじき

保育士「え~黒いへビさんは食べれるの?」 Bちゃん「これは.....黒いヘビさん」

Bちゃん「たべれるよ」

保育士「黒いヘビさんおいしい?」

Bちゃん「(食べてみて) おいしーい!!

よう」「おいしいかも」と思わせてくれますね。 する食事は楽しくて、苦手な物でも興味を惹かれて「食べてみ 色々な物に見立ててみたり、みんなで会話を楽しみながら

11月のねらい

遊びに取り入れる

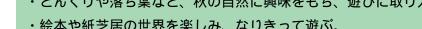
Bちゃん:「たしかにね!花火がどどん!っていう

てるよ」

時、こんな感じだった」







こくん

: しばらくして暗くなり「あれ?花火が終

わっちゃった...また、やってほしいな_

なりきって遊ぶ。

ちゅ うり

> 次の日はすぐ真っ暗になってしまいました。 花火のように見える感性が素敵です。 「どんぐりの大きさ」

Bちゃん:「明日また見てみようか」

公園で様々などんぐりを見つけ

Dくん :「見て、これ!でかでかどんぐりだよ」 Eちゃん:「これは細いよ」

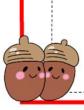
:見比べて「もしかして食べすぎたのか

Dくん

甘いもの食べたのかも...」

かわいいやりとり。甘い物好きのどんぐりだった Eちゃん:「Eちゃんのお腹みたいにね

のですね(笑)





_ さくら組

11月のねらい

季節に応じた生活の仕方を知り、 衣類の着脱など自らできる とはやろうとする。

Bくん: 「それずるい

魔法のメガネしちゃだめ!」

一人とも真剣な表情です(笑)

探して!

イメージしたことを様々な素材や方法を使って表現する楽しさを味わう。

 h_{\circ}

謎解きを進めたいAくんと誰よりも先に見つけたいBく

ミッケの楽しみ方はさまざまです。



保育士:「まぁよく見える!」

と思わず言ってしまうと・

その日からミッケを始めると こどもたち:「魔法のめがね?!.



Aくん:「魔法のメガネかけてよ!見つからないから一緒に









いに目覚めた こどもたち。

牛乳やりたい!

近頃、

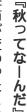
のですが、アラフィフ保育者には眉間のシワが深くなる細

精巧なジオラマ写真の中に隠されているものを探していく

ミッケの絵本がブームなさくら組

魔法のメガネ」

かさ小ささ...。そこで、必須アイテムを取り出して装着♡



季節が変わったことを感じる最近

保育士「"秋になった"ってどんなことがあるかなぁ

こどもたち「さむくなった!」 「柿ができてきた!

「みかんたべた!」

「10月になった!」

「くりごはんたべた!」

こどもたちらしい答えが出てきました。

と改めて感じる秋です。 季節の変化を具体的に感じ、それを伝えるのはなかなか難 しいこと。 季節感を感じる会話をしていくことは大事だな





- 遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。





する!」

В

C В

「じゃあ、

あたし麦茶やるね!」

ます。

さすがもみじ!

人

AB「オッケー(と言って牛乳を注ぎ始める2

...自分たちで分担までして取り組んでくれてい

A「1・2...、今日3人だ!」

「麦茶がいい人(手を挙げて)。

んー、2人。

C「牛乳、少なめがいい人(手を挙げて)!」

ABC「やったー!」

保「助かる―!じゃあ、ここからよろしく~」

BC「あたし/ぼくも! A「今日牛乳やりたい!」

あきまつり」

ある日の散歩帰り

A「前に夏祭りやったみたいにさ、秋祭り

やろうよ!」

В

保「いいじゃん!何やるの?」

「たしかに!おみくじとかあった気が 「ホールに秋祭りの絵本あるよね_

「帰ったら見てみよ!_

はありません。 あれから2週間経ちますが、 まだ動き

